

問1 第二次世界大戦後、日本で満年齢で選挙権を得られるようになったのは何歳以上の男女？

1. 18歳 2. 21歳 3. 20歳 4. 25歳

問2 1973年の第四次中東戦争を背景に、原油価格が急騰し世界経済に打撃を与えた出来事を何という？

1. 石油危機 2. ニクソンショック 3. リーマンショック 4. 世界恐慌

問3 田中角栄が内閣総理大臣に就任した年は西暦何年？

1. 1960 2. 1972 3. 1964 4. 1989

問4 第四次中東戦争をきっかけに中東の産油国が原油価格を引き上げ、世界的な経済混乱を招いたのは何年？

1. 1971年 2. 1975年 3. 1974年 4. 1973年

問5 第二次世界大戦後、アメリカとともに冷戦の中心となった社会主義国家はどこ？

1. アメリカ合衆国 2. ソ連 3. イギリス 4. フランス

問6 1950年代半ばから1970年代初めにかけて続いた、日本経済が急速に成長した時期を何という？

1. 高度経済成長 2. 産業革命 3. バブル景気 4. 世界恐慌

問7 第一次世界大戦後に設立されたものの、第二次世界大戦を食い止めることができず解体された国際組織を何という？

1. 東南アジア諸国連合 2. 国際連合 3. 国際連盟 4. 北大西洋条約機構

問8 沖縄返還は、沖縄の人々にとってどのようなことの象徴であるといわれている？

1. 教育改革 2. 高度経済成長 3. 農地改革 4. 国際社会への復帰

問9 1947年に実施され、引揚者の帰還などにより戦後直後の日本国内で急増した人々の数を把握するために行われた調査を何という？

1. 学校基本調査 2. 国勢調査 3. 住宅・土地統計調査 4. 経済センサス

問10 第二次世界大戦後、アメリカを中心とする資本主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営が繰り広げた、直接的な武力衝突を伴わない対立状態を何という？

1. 冷戦 2. 第二次世界大戦 3. キューバ危機 4. ベルリン封鎖

問11 1950年代半ばから1970年代初めにかけて続いた、日本の急速な経済成長を何という？

1. オイルショック 2. 安保闘争 3. 高度経済成長 4. バブル経済

問12 日本が国際社会へ復帰するための「サンフランシスコ平和条約」が調印された年はいつ？

1. 1955年 2. 1952年 3. 1950年 4. 1951年

問13 アメリカの統治下に置かれていた沖縄が、軍事拠点として大きな役割を果たした、1960年代から70年代にかけてのアメリカによるアジアでの介入戦争を何という？

1. 湾岸戦争 2. 朝鮮戦争 3. ベトナム戦争 4. 中東戦争

問14 1955年のバンドン会議において、アメリカやソ連のいずれの陣営にも属さない国々が団結し、国際的な発言力を高めようとしたグループを何という？

1. 冷戦構造 2. 第三勢力 3. 東側諸国 4. 西側諸国

答え合わせ・解説

問1	答え 3 20歳	1945年の法改正により、選挙権の制限が大幅に撤廃され、満20歳以上の男女に平等な選挙権が認められました。これにより、日本においても本格的な男女平等の参政権が実現し、国民全体が政治に参加する権利を持つこととなりました。
問2	答え 1 石油危機	1973年に第四次中東戦争が発生すると、OPEC（石油輸出国機構）が石油の輸出を制限し、価格を急激に引き上げました。これを受けて日本国内でも買い占め騒動が起き、物価が急上昇して「狂乱物価」と呼ばれる状況となりました。
問3	答え 2 1972	1972年に内閣総理大臣に就任した田中角栄は、その直後に中国を訪問し、日中共同声明を発表しました。これにより日本と中華人民共和国の国交正常化を実現し、長年断絶していた外交関係を改善しました。これは日本の戦後外交における非常に重要な転換点となりました。
問4	答え 4 1973年	1973年、第四次中東戦争が勃発すると、中東の産油国は原油価格を大幅に引き上げました。これにより「石油危機（オイルショック）」が発生し、日本を含む世界経済は大混乱に陥りました。ガソリンや灯油が不足し、物価が急激に上昇する「狂乱物価」と呼ばれる状態も生まれました。
問5	答え 2 ソ連	アメリカは資本主義と自由主義を、ソ連は社会主義と計画経済を掲げ、世界を二つの勢力圏に分割して競い合いました。これが「冷戦」です。直接戦うことは避けましたが、代理戦争や軍事同盟を通じて世界中が緊迫した状態に置かれました。
問6	答え 1 高度経済成長	技術革新や設備の近代化が進み、鉄鋼・自動車・電機などの産業が急成長しました。この時期、東海道新幹線の建設などのインフラ整備も進められ、国民の所得や生活レベルが目に見えて向上しました。
問7	答え 3 国際連盟	本部はスイスのジュネーブに置かれました。世界平和の維持を目的としましたが、提唱国のアメリカが議会の反対で参加せず、ドイツやソ連などの参加も遅れるなど、組織としての力に限界がありました。
問8	答え 4 国際社会への復帰	沖縄返還は、単なる領土の返還ではなく、戦後日本の完全な独立と国際社会への復帰を意味する出来事でした。沖縄の人々にとっては、長年のアメリカ統治から脱却し、平和憲法の下で日本の一員として歩み出すという大きな転換点となりました。
問9	答え 2 国勢調査	1947年に行われた国勢調査は、戦後の社会状況を正確に把握する役割を果たしました。この調査により、食糧難や住宅不足などの社会問題を解決するための政策が練られました。
問10	答え 1 冷戦	冷戦は、軍事的な直接衝突を避けながら、兵器開発や宇宙開発、あるいは各国の政情への介入などを通じて行われた世界的な対立構造です。
問11	答え 3 高度経済成長	1955年頃から1973年のオイルショックまでの約20年間、日本は世界的に見ても驚異的なペースで経済発展を遂げました。これを「高度経済成長」といいます。重化学工業が中心となり、テレビ・洗濯機・冷蔵庫などの「三種の神器」が普及し、人々の生活水準も劇的に向上しました。
問12	答え 4 1951年	1951年、吉田茂首相が代表となってサンフランシスコ平和条約に調印しました。この条約は翌1952年に発効され、日本は主権を回復しました。
問13	答え 3 ベトナム戦争	当時の沖縄はアメリカの施政権下であり、膨大な軍事基地を抱える「太平洋の要石」として、ベトナム戦争における米軍の重要な兵站拠点や出撃基地となりました。
問14	答え 2 第三勢力	このような状況下で、アジア・アフリカ諸国はどちらの陣営にも属さない立場を表明しました。これが「第三勢力」と呼ばれます。1955年にインドネシアで開催されたアジア・アフリカ会議（バンドン会議）は、この勢力が団結を示す大きな転換点となりました。